



2023年8月発行  
 社会福祉法人 ありのまま舎  
 (障害者自立企画)  
 発行責任者 白江 浩  
 編集 佐藤 環  
 〒982-8544  
 仙台市太白区西多賀4丁目19-1  
 TEL022(243)1300  
<http://www.arinomama.or.jp/>  
 E-mail houjin-arinomama@globe.ocn.ne.jp

1976年2月25日 第3種郵便物認可(毎週4回月・火・木・金曜日発行)  
 2023年8月11日発行 SSKO通巻11428号

## 第23回ありのまま自立大賞授賞式開催

7月22日(土)14時より仙台市福祉プラザを会場に「第23回ありのまま自立大賞授賞式」が開催されました。今回はコロナ前の形に戻し、対面での選考委員会や面接調査を実施し、約1年かけて選考を行ってきました。

### 【ありのまま自立大賞】

早瀬久美様 (昭和大学病院薬剤師・デフリンピック選手)

### 【ありのまま自立支援大賞】

玉川敏彦様 (日本車いすバスケットボール連盟元会長)

お二人ともご参加頂き、授賞式を共に祝いすることができました。(詳細のご活動については次のページをご覧ください。)  
 今回自立大賞は4名の方の推薦があり、選考委員会での協議の結果4名すべての方の面接調査を行うこととなり、5〜6月



(前列右) 瑠子女王殿下・早瀬久美様・玉川敏彦様  
 (後列右) 前島委員・白江委員

にかけて直接ご本人とお会いして面接調査を行いました。今回は改めてできるだけ複数の選考委員の方が参加できるよう日程を組み、面接調査、最終選考について協議を行い受賞者が決定致しました。

COVID-19で2年間中止となり、昨年はオンラインを併用して選考を行いました。以前の形に戻し、自立大賞を迎えられて良かったと思っています。

### 薫る風

今年も福祉講座、自立大賞という法人としてのアイデンティティとも言える一大啓発活動が無事終えることができた。そして財政面、支える職員体制を含めた「持続可能」な活動を常に考えながら今日まで行ってきた。その原動力は、言うまでもないことだが、様々な立場の多くの人々の「思い」と「協力」「支援」である。とは言え、年々継続することの難しさは増している。長年支えて下さった方々が高齢化等の理由で、これまで通りの「ご協力」「ご支援」が難しくなり、その代わりに

の方が見出せずにいることだ。趣旨に沿ってやり方を変えて、省力化することや、インターネット等の活用で、対面のみに限定しない形態で継続することは可能だと思ふ。しかし、これまでのやり方にもそれなりの意味や替え難い意義もあり、単純な話ではない。行き詰まりを感じつつも諦めないのが「ありのまま舎」と言われ、そのプレッシャーに背中を圧されてきた。ただ私は、ここ数年二つの活動に質的变化を感じるようになった。「福祉文化」という言葉があるが、生活福祉講座のテーマに「文化」を追加し、福祉を生活の一部として文化として発展させたいと座長の彬子女王殿下にお願いし、座長をお引き受け頂いたが、それが根付いてきたように思う。広い意味の考え方としての「ケア」(カルチャー)から派生したと言われる)の理念に近づいた内容になってきたように思う。また、自立大賞も委員長の瑠子女王殿下の着眼点は、ある意味、自立大賞創設者の寛仁親王殿下の真意を更に深めた発想を感じる。特に何を評価するかという視点だ(選考過程のご意見、授賞式や記者発表でのお言葉より、自立にも一部掲載)。こうした質的变化を発展させつつ、継続できることを目指したい。

(白江浩)

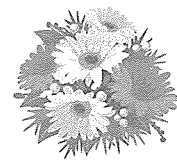
記者発表  
7月14日(金)



瑠子女王殿下と白江理事長  
(宮城県庁)

授賞式に先立ち、宮城県庁にて記者発表が行われ、瑠子女王殿下に御臨席を賜りました。  
「ありのまま自立大賞は23回目になりませんが、面接調査では今までは固定の方が多かったのですが、できるだけ多くの委員の方に話を聞いて頂くべきではないかとお伝えしたところ、今年、予定を調整して頂き全員参加とまではいきませんでした。が、共に推薦された方のお話を聞かせ頂きました。父は面接調査には関わっていなかったのですが、私が受け継いでからは面接調査に関わるようになり、今年で11年目になります。今回も委員の方々の意見、また推薦された方のお話を聞きながら公正で明確な理由を持って選考させて頂きました。今後まだまだ世の中に見えていない活動をして

いる方々を私たちがすくいあげられるように頑張ってお参りたいと思います。」とおことばを頂戴しました。宮城県内の報道関係者の皆様にお伝えすることができました。



自立大賞授賞式  
7月22日(土)

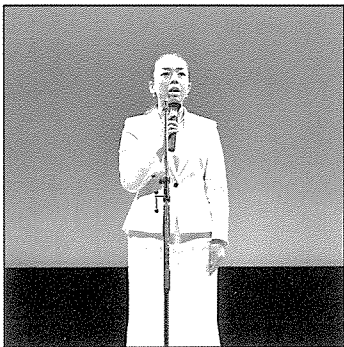
7月22日(土)の授賞式には約50名の方々にご出席いただきました。ご多忙の中、選考委員長の瑠子女王殿下に御臨席を賜りました。

「今回4名の方のお話を聞かせていただいて、2名の方に絞ったわけですが、このありのまま自立大賞は一位であるとか二位であるとか、ここで選ばれなかったからと言って、区別や差別するということではなく、順位は設けておりません。今回、自立大賞として早瀬さんが、自立支援大賞として玉川さんが選ばれたわけですが、選ばれなかった方々が、何かが劣っているというわけではございませんので、賞の特性を分かっていただけだと思います。障害者、健常者と区別したがる傾向にあります

が、いわゆる健常者と言われていても、私と同じように難聴という方もいらっしゃるでしょうし、年齢を重ねられて耳が聞こえづらくなる方もいらっしゃると思います。

何度も申し上げている事ではありませんが、一〇〇%の障害者もおりませんし、一〇〇%の健常者もないというのが父の考えでございます。それをありのままの自立大賞も継承しております。それを踏まえながら、これから始まるVTRや受賞されたお2方のお話を聞いて感じていただければというふうに思っております。

皆様、だい暑い日が続いております。東京もそうですし、宮城もそうかと思えます。お身体には充分気をつけて頂ければなと思っております。今日はいらしていただき、本当にありがとうございます。とおことばを頂戴しました。



瑠子女王殿下

ありのまま自立大賞  
早瀬久美様



早瀬久美様

る一方で、薬剤師の専門知識を生かし、大会に派遣される日本選手団が使用する医薬品を用意したり、アンチ・ドーピングのスポーツファーマシストでもあることからあらゆる選手から頼られる存在となり、こうした努力と困難を乗り越えている姿は聴覚障害者のみならず多くの人に希望を与えました。

【早瀬様へ挨拶】

「私が小さい頃から、聞こえないということに関係なく普通に生活ができるようにと親がのびのびと育ててくれました。その中で私自身、将来の夢は母と同じ薬剤師になりたい。そこから聞こえない人、見えない人が薬剤師になること、あるいは医師になることは免許の問題で取れない。そのような法律があるということも親から聞いて知ることとなりました。中学校、高校とずっと薬剤師になる夢は持っていて諦めずに周りに伝えて、夢をつかむと自分の中で決めました。日本全国から沢山のご支援をいただき、その結果、法律の改正につながり、今、若い人たち、あるいは子供たちに薬剤師という道を目指してもらおうきっかけにつながったと思います。

当時、薬剤師として欠格事由とされた先天性難聴でありながら薬剤師だったお母様と同じ職業を志し、薬剤師国家試験に合格されました。しかし欠格事由のため資格申請を却下されても諦めることなく難聴であっても薬剤師として働ける環境が作られるよう多くの署名を集めるなど周りからの理解も得た結果、その活動が認められ法律も改正されることとなり、聴覚障害者として国内で初めて薬剤師免許を取得されました。  
その後は大病院において国内初の聴覚障害者外来を作られ設置され、聴覚障害者がより安心して受診できる体制と環境を整えられました。  
またデフリンピックのマウンテンバイク選手として活躍され

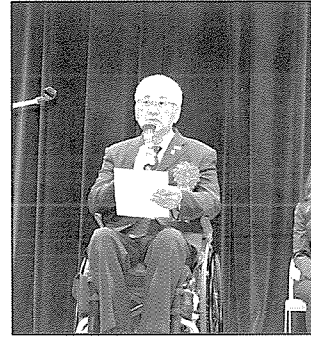
1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)



表彰を受けられる早瀬様

2025年にデフリンピックの大会が東京で開かれます。百年目の節目の年です。そのタイミングで東京で開催できることは本当に素晴らしい機会だと思います。私自身、薬剤師として、また自転車選手として関わることができる。そのようなことに大変運命を感じております。今年大変素晴らしい賞をいただくことができ、大変自信に思いますし、それを今後につけて新しい道を見つけ自信を持って活動して行きたいと思っております。本日は本当にありがとうございます。と御挨拶をいただきました。

ありのまま自立支援大賞  
玉川敏彦様



玉川敏彦様

東京2020パラリンピックの車いすバスケットボール日本代表が銀メダルを獲得した感動を覚えている方も多いと思います。玉川様は練習場所の確保や選手育成の資金集めなどその活躍を陰で支えました。全国各県に車いすバスケットボール愛好者が増え始めた70年代。故浜本勝行会長から連盟を引き継ぎ、体制を牽引刷新し、挑戦を続けてこられました。  
任意団体から一般社団法人となり、全国大会を開催できる連盟へと成長、障がい者スポーツの象徴的存在となりました。その陰には練習場所の確保や資金集めなど、国民の目に見えない縁の下で選手や連盟を支えてこられました。こうした功績が障害者スポーツのみならずスポーツ界全体に与えた影響は大きく、これまでの功績を讃えました。

【玉川様】「挨拶」

「私は2000年から日本車いすバスケットボール連盟に関わり、副会長、会長を経て本年4月24日に満期を迎えました。約23年にわたり関わりを持たせていただきました。私は日本車いすバスケットボール連盟の劇的な環境の変化に一言では言い表すことができないほど驚いています。これも諸先輩方のご苦労が実ったものだと思います。現在ではスポンサー企業を始め、30会員、ボランティアの皆様、各自治体の皆様の協力をいただき運営しております。」

2020年パラリンピック競技大会で男女とも好成績を残すことができ、特に男子は銀メダルを獲得しました。過去に例がなく、晩年7位、8位という成績で、私は本当にあの時点で会長という職にあったことは喜びの限りでございます。  
現在は今後の10年先、20年先を見据え、熱い思いを抱いた30名のメンバーで未来プロジェクトを立ち上げ、社会貢献を目的し、子どもたちへの体験講習会やスポーツスポンサー企業様への講演会など幅広く活動しております。すでに各地域では冬はウィンタースポーツ、夏は海水浴、秋にはキャンプなどを実施しており、子どもたちには大変好評を得ております。国民

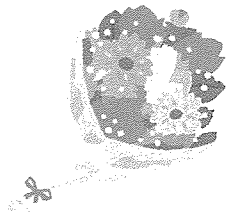
の皆様が何らかのバラスポーツに触れる機会を今後増やして参りたいと思っております。今回の受賞ありがとうございます。と御挨拶をいただきました。



表彰を受けられる玉川様

出席者の皆様には感染症対策のご協力をいただき無事に開催することができました。

また面接調査や記者発表、授賞式においては準備などでたくさんの方々に深いご理解とご支援をいただき、選考を進めることができましたことに心より感謝したいと思います。  
ありがとうございます。



贈る人 贈られる人の気持ちを大切に...

FLOWERED  
花のフラワード

虹の丘本店 仙台市泉区虹の丘4-2-9 TEL022-375-4411  
泉中央 SELVA 店 仙台市泉区泉中央1-4-1 TEL022-371-0311  
北仙台店 仙台市青葉区昭和町3-40 TEL022-728-4411



オンラインショップでは  
24時間ご予約承ります。

<http://www.flowered.jp/>

仙台エリア

【ホームケア仙台ありのまま舎 リビングセンター】

今年には様々なところで夏祭りが再開され、ホームや難病ホスピスが所属する町内会でも夏祭りが行われました。子どもたち

ホームの中でも会報折込作業を中心に手伝って下さる方、注文した生協の品物を仕分けて入居者のお部屋まで運んで下さる方、週1回の買い物で買ってきた品物を車から運んで下さる方など関わって下さる方がおられ、その様子を見ていたほかの方も自然に手伝って下さる姿が多くなりました。自分ができる

(佐藤環)

【サポートケア仙台ありのまま舎 (難病・障害者相談支援センター)】

7月11日(火)に開催された太白区なごやかネットに出席しました。今回のテーマは、児童発達支援事業所・放課後等

療育活動支援として利用児童に提供できる楽しみと多くの刺激をもつて過ごしてもらつことへの取り組みとともに、利用コーナーネットワークの役割を担う相談支援や行政との連携に至る多くのお話ができたことが成果物となりました。

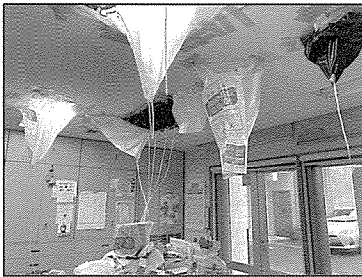
(齋藤栄樹)

茂庭台エリア

【難病ホスピスケア太白ありのまま舎 (事務局)】

事務所天井からの水漏れは7月初めのこと。頭上にあたる濡れる感覚は気のせいではなかったと、この日を境に天を仰ぎながら？仕事をすることになりました。

天井には漏斗にみたてたゴミ袋を張り、床や机上に置いたバケツやタオルで水を受ける対応をとりました。新たな水漏れに備えて机全体をブルーシートで覆うこともあり、翌朝はブルーシートに落ちた水を拭き取ることから一日が始まることもありました。床のバケツを避けて歩くことは、一種のアトラクションのような気持ちにもなりましたが、色とりどりのゴミ袋は一足早い仙台七夕のような風景でもあります。



天井の雨漏りを防ぐためのゴミ袋。早く修繕が完了できればと思います。

【チャイルドケア 仙台ありのまま舎保育園】

そんな中でも、日常と何ら変わらずに、困難な状況を笑顔と工夫で乗り切ろうとする姿勢にありのまま舎職員の逞しさを感じつつ、ようやく7月末に業者に入っていただけのことになりました。気がついたら梅雨が明け・・・。さあ！あと少しの辛抱です。

(鈴木美代子)

子どもはだるくても、この状態がだるいとはわからず言葉にできません。なんとなくいつもと違うなと感じた時は、遊べているから大丈夫ではなく、体のほてりを抑えながら、静かな遊びに切り替え、様子をみましょう。絵本をのんびり読んだりお絵描きをしたり。

子どもたちは動物や魚、乗り



カッパを着て雨を楽しんでいる子どもたちです。夏ならではの光景です。

物などの凶鑑も好きです。一つ一つゆつくり名前を伝えながら色や形のお話をすることを喜びます。そうしている間に体も休めることができますね。暑さももう少し。静かな遊びも工夫しながら取り入れ、元気に乗り切りましょう。

(春日麻里)



名取エリア

【サポートケア名取ありのまま舎  
（難病・障害者相談支援センター）】

今回はグループホームに入居しながら、透析治療と就労移行支援事業所に通所しているMさんにインタビューをしました。

一・楽しみにしていること

就労移行支援事業所に通所して、職員さんや利用者さんとワイワイとお話することが最近の楽しみになっています。あとは、休日に買い物に出かけるのも楽しみです。

二・頑張っていること

週3回の透析を頑張っていますし、グループホームは共同生活なので、みなさんとのコミュニケーションを頑張らないといけないときもあります。

三・目標について

就労移行支援事業所の通所が来春で終了となるので、その後の生活を整えることが目標です。秋ごろから職員さんと一緒に活動場所の見学や体験をしていく予定になっています。

日々の健康管理とともに、次のステップアップ先を検討していくMさんが、体調に負担なくご本人らしい生活を選択できるようなサポートしていきたいと思っています。

（澤田石裕子）

亘理エリア

【難病ホスピスケア亘理ありのまま舎  
（事務局）】

亘理ありのまま舎の玄関を入ってすぐのところに「カフェスペース」があります。電気ポット・電子レンジ・IH調理器等を備えており、入居者のご家族・ご友人がいらした際にどなたでもご利用でき、簡単な調理をしたり飲み物を淹れたりしながらくつろげる憩いの空間として気軽にお使い頂ける事をコンセプトに開設されました。

ところが、開設されて程なく新型コロナウイルス感染症の流行期に入ってしまった事で入館制限をせざるを得ない状況となり、カフェスペースも本来描いていたものとは程遠い空間が続いており、とても残念で寂しく思う日々です。

そのような中で、昨年に豆から挽いてドリップするコーヒーマシンが設置されました。日頃忙しく走り回っているスタッフへの少しでも癒しになれば、との思いで導入されたものですが、リピーターとなつている入居者の方もいらつしやう、わずかでも癒しの一助になつているようで嬉しく感じております。

一日でも早く元の日常が戻り、「カフェスペース」が皆様の本当の憩いの場となる事を心待ちにしています。

（鈴木一彦）

【サポートケア亘理ありのまま舎  
（難病・障害者相談支援センター）】

7月11日（火）、亘理町中央公民館にて、権利擁護・虐待の防止の取組事業の一環として「障害のある方・ご家族向け研修会」を開催しました。

『障がい者の暮らしとお金の相談室』のファイナンシャル・プランナーを講師に迎え、経済面からみた親なき後の課題や資金計画、制度の活用などについて講話頂きました。また、参加者同士で話し合いをするグループワークでは、それぞれ不安に思っている事など意見交換をしました。

アンケートでは、「グループワークで同じような悩みを共有できたことで、少し安心につながった」「漠然と感じていた不安だが、具体的に考えていく機会となった」「継続的に親同士つながっていったらよい」などの感想が聞かれました。

当初予定していた定員を超えて参加申し込みを頂くなど、関心の高いテーマであることを改めて痛感しました。今後も障害のある方やご家族にとって、少しでも不安を軽減できるような研修作りを心掛けていきたいと思ひます。

（馬場美和）

【サポートケア県南ありのまま舎  
（難病・障害者相談支援センター）】

サポートケア県南ありのまま舎は岩沼市と亘理町の委託相談支援事業所となっています。今回は岩沼市内の活動についてご紹介したいと思います。

岩沼市は4小学校区に相談支援事業所を地区割りされており、当事業所は玉浦地区を担当しています。主に定期的な自宅等訪問や面談の他に地域包括支援センター等の関係機関の職員との情報共有や障害福祉サービスの利用調整、社会資源に関する情報提供と様々な相談内容に応じ、日々対応しています。また岩沼市障害児者地域自立支援協議会の運営委員として関わっています。

その中で先日生活支援部会の運営委員の皆さんと地区毎に分かれ、総合防災訓練に参加して来ました。地区毎での避難経路や方法等の違いを学び、今後障害のある方の災害発生時の体制づくりを考えさせられた良い機会だったと思います。

今後も地域の方々や連携し、障害のある方が抱えている問題を少しでも一緒に解決出来る相談員を目指していきたいと思ひます。

（蒲生豊二）



レンタカー・カーリースのご用命は



本社 / 仙台市宮城野区宮千代 2-13-3 電話 022-283-0100  
法人営業部 / 仙台市宮城野区日の出町 2-3-7 電話 022-782-0022

本	町	店 022-224-0100	卸	町	店 022-237-0100	仙	台	空	港	店 0223-22-0100	新	幹	線	くりこま	高	森	駅前	店 0228-21-2100				
交	通	局	前	店 022-221-0100	蒸	砂	店 022-254-0100	船	岡	前	店 0224-57-0100	石	巻	駅	前	店 0225-21-7007						
仙	台	駅	西	口	店 022-213-0100	森	野	2	8	6	店 022-246-0100	新	幹	線	古	川	駅前	店 0224-22-0252	石	巻	店 0225-22-0100	
仙	台	駅	東	口	店 022-293-0100	泉	中	央	駅	前	店 022-372-0100	新	幹	線	古	川	駅前	店 0229-23-0100	気	仙	沼	店 0226-22-0100

新型ヴォクシー（車いす仕様・電動スロープ車）  
その他ウェルキャブもラインナップしております。



# スクラップ

## 河北新報 2023 (令和5) 年7月15日 (土)

1976年2月25日 第3種郵便物認可 (毎週4回月・火・木・金曜日発行)

### 神奈川の早瀬さん選出

#### 聴覚障害者で初の薬剤師

#### ありのまま自立大賞

社会福祉法人ありのまま舎(仙台市太白区)は14日、自立して活動する障害者を表彰する「ありのまま自立大賞」の受賞者を発表しました。大賞に、聴覚障害者として初めて薬剤師免許を取得した早瀬久美さん(48)＝神奈川県＝を選んだ。

先天性難聴の早瀬さんは1998年2月に国家試験に合格。当時は障害を理由に免許の取得を制限する薬剤師法の欠格条項があり、免許の申請が却下された。

早瀬さんは条項の撤廃を求める活動を実施。2001年の法改正で条項が廃止され、同年7月に免許を取得した。

現在は昭和大病院(宮城県)に勤務。聴覚障害者の国際総合スポーツ大会「デフリンピック」の自転車競技の選手としても活躍する。

障害者の自立を支える団体・個人に贈る「自立支援大賞」は、前日本車いすバスケットボール連盟会長の玉川敏彦さん(70)＝東京都

＝が選ばれた。

自立大賞は、1999年にありのまま舎創設者の故山田重也氏と故三宮宮寛仁さんが創設。現在は寛仁さんの次女瑠子さんが選考委員長を務める。

宮城県庁で記者会見した瑠子さんは「まだ見えない活動をしている方々を、私たちがすくい上げていけるように頑張っていきたい」と話した。

授賞式は22日に仙台市青葉区の市福祉ラザレで開催される。

【記者発表】東北放送・東日本放送・仙台放送  
2023 (令和5) 年7月14日 (土) 夕方のニュースで放映  
【授賞式】東北放送・仙台放送  
2023 (令和5) 年7月22日 (土) 夕方のニュースで放映  
ミヤギテレビ  
2023 (令和5) 年7月24日 (月) 夕方のニュースで放映

「協力ありがとうございました(敬称略)」

【本部】

◆会報発送のための帯封の糊付けを、仙台西高等学校JRC有志・東北学院榴ヶ岡高等学校有志・個人の皆様にお手伝いいただきました。

◆会報の折り込みは、日本基督教団東北教区婦人会の仙台北三番丁教会と仙台宮城野教会の皆様にご協力いただきました。

◆バザー会では、各会場でコロナ感染症予防に気を付けながらお手伝いいただきました。シヨップセールの会場でも、開始準備や片付け等のお手伝いいただきました。

◆太白ありのまま舎  
◆仙台シルバーネットの皆様による「読書会」◆茂庭台ボランティアグループの皆様による「気ままに書く会(書道)」◆宮城県車いすダンス協会様による「車いすダンス」など施設内で行う活動は引き続きお休みさせていただいております。

新型コロナウイルスが5類に移行して二カ月以上たちますが、やはり感染のリスクとは隣り合わせのように感じます。ありのまま舎を支えてくださっている皆様ご体調を崩さないよう、心よりお祈り申し上げます。

(遠藤寿子)

ありのまま舎後援会(敬称略)

全国からのご支援、ありがとうございます。(事務局 佐藤環)

【自販機販売設置支援】  
◆サントリービバレッジ  
6月分の売上の一部を、寄付頂きました。

こくみん共済coop  
宮城推進本部 1,819円  
ありのまま舎(自立ホーム・太白ありのまま舎・サポートケア  
県南・亘理ありのまま舎)

◆株式会社ミチノク  
23 4〜6月分売上  
日下亜弥 945円  
亘理ありのまま舎 6,031円